

7864.09

日本図書館研究会 <b>整理技研会報</b> 3	編集と発行 整理技術研究グループ 世話人 上田 裕 大阪市西区北堀江御池通5-1 大阪市立中央図書館内
-----------------------------	---

# 特殊資料の整理 と 電子工学の分類

八月例会は、8月22日(土) 松下電器中央研究所図書室で上記内容を議題として開かれた。

## I. 特殊資料の整理

公共・大学田では特殊になるパンフレット、カタログ、規格 .. なども会社田においては、図書と同じくらいか、むしろそれ以上に重要なウェイトを占めているのに、その整理・保管については、一般に整理上の盲点となっていた節もあり、今回 松下電器の中島氏が提出したこのテーマについても、今後なお解決されるべき多くの問題点を残した。特殊資料として当日扱った範囲は次の通り。

- (1) 製品・商品カタログ：種類、目録のとリ方、排架方式、目録カード。
- (2) 学会の予稿集：入手方法、目録のとリ方
- (3) 規格
- (4) パンフレット

## II. 電子工学のトピックスと分類

松下電器の和田氏より実物を目の前にして、最近よく耳目にする新主題の説明と、NDCによる分類が行なわれた。

エレクトロルミネセンス	425.6
超伝導	426.7
プラズマ	427
有機半導体	428.85
オートマトン	501.9
オシロスコープ	541.534
シンクロスコープ	541.534
複合部品	542.9
マイクロモジュール・モレクトロン	547.46

トランジスタ モーター	542.23
ブラック ライト	545.27
パラボラ・アンテナ	548.38
変調 (F.M.; P.C.M., A.M., P.M.)	548.46; 549.36
レーザー , ナーザー	549.8
ニュービスタ, コンパクトロン	549.5

## 総合目録と所蔵目録

前畑 典弘

目録原則国際会議にもとづいて各国で目録規則の改訂作業が行なわれており、わが国でも日本目録規則の1964年版が出されようとしている。目録規則統一の最大目標の一つは総合目録の編集であろう。

一方、わが国では約十年前に「目録作業の簡略化と効率化」のために「標目と記述の分離」が唱えられ、最近ではこの方向をさらに押し進めたものとして現在行われている、ユニットカードの標目を後からつけ加える手数を省こうという試みが、所蔵目録についてなされている。アメリカでもこのような提案がなされているという。

上に述べた二つの方向はいづれも利用者(奉仕対象)への奉仕という同じ観点から進められてきたのであろうが(現にNCR 1964年版委員案は1952版に比し、相当簡略化されている)、かなりの相異が見られる。そしてこの相異は奉仕対象をどのようにとらえるか、現実の国をどのように理解し、改善をどの点から進めていくか、といったようなことから生まれてきたように思われる。

最近、「目録作業の簡略化と効率化」をもっとも積極的にとり上げていた国の人から、総合目録との関連から、またもどのようにNCRに従って目録をとっている、という話を聞いた。

十年を経た今日、総合目録と所蔵目録との関連について考えてみる必要はないだろうか。  
(大阪大学産業科学研究所図書室)

## 10月例会お知らせ

とき 10月10日(土) 2.00~5.00  
 ところ 大阪学芸大学天王寺図書館  
 テーマ 化学(広義)  
 講師 大阪学芸大学助教授 南波嘉幸氏

NDCの本表や索引にあらわれない新主題を、専門家助言を得て分類決定し表の中に追加していこうと思いますので、そのための資料を出来るだけ多く持参下さるようお願いいたします。